

岩手大学銀河オープンラボの使用に関する取扱要項

(平成30年7月10日制定)

(趣旨)

第1条 この要項は、銀河オープンラボ（以下「銀河ラボ」という。）の使用について必要な事項を定めるものとする。

(研究開発室の使用)

第2条 オープンラボ及びプロジェクトスペース（以下「研究開発室」という。）の使用を許可された者（以下「使用責任者」という。）は、許可された使用目的以外に使用してはならない。

(使用責任者の責務等)

第3条 使用責任者は、次の各号に掲げる事項を遵守しなければならない。

- (1) あらかじめ申請書に利用者として記載された職員、学生及び学外者（以下、「利用者」という。）以外の者に研究開発室を利用させないこと。
- (2) 利用者は国の定める労働安全衛生法及び関連法令を遵守すること。
- (3) 利用者の一覧を研究開発室に掲示すること。
- (4) 利用者に変更があった場合は、別添様式1により、利用者一覧をすみやかに三陸復興・地域創生推進機構長（以下「機構長」という。）に届け出ること。

2 利用者は、本学が講ずる安全衛生管理のための措置に従わなければならない。

(備品等の設置)

第4条 使用責任者は、別添様式2により、銀河ラボ内に搬入する機器の一覧を機構長に提出するものとする。ただし、大型実験用設備を設置する場合には、あらかじめ機構長の許可を得なければならない。

(工事)

第5条 使用責任者は、銀河ラボにおいて、電気、ガス、水道、その他に関する工事を行う場合には、あらかじめ機構長の許可を得なければならない。

(施設利用料及び光熱水料等)

第6条 使用責任者は、岩手大学銀河オープンラボ運営規則別表に定める施設使用料及び研究開発室において使用する光熱水料等をそれぞれ指定する期日までに機構に納付しなければならない。

(駐車場の使用)

第7条 使用責任者のうち、本学の駐車場の使用を希望する者は、機構長の許可を受けなければならない。

(薬品使用・廃液処理等)

第8条 使用責任者は、研究開発室において岩手大学毒物及び劇物管理規則に基づき薬品を適正に保管・管理しなければならない。

- 2 使用責任者は、研究開発室より発生する廃液については、岩手大学排水規則及び岩手大学排水規則実施細則に基づき適正に管理しなければならない。
- 3 前二項に定めるもののほか、使用責任者は、研究活動等において関連する法令等を遵守しなければならない。

(ディスカッションスペースの使用)

第9条 銀河ラボのディスカッションスペースの使用は、銀河ラボの設置目的に則った活動に限って機構が許可する。

(キャンパスネットワークの使用)

第10条 使用責任者は、岩手大学が有するキャンパスネットワークを使用して、営利活動をしてはならない。

2 使用責任者は、情報セキュリティ対策及びコンピュータウイルス対策を行わなければならない。

(安全衛生委員会)

第11条 使用責任者は、使用責任者ごとに1名の安全衛生担当者を置く。

2 安全衛生担当者は、岩手大学三陸復興・地域創生推進機構安全衛生委員会に参加するものとする。

3 使用責任者は、岩手大学危機管理規則に基づき防犯・防火に努めなければならない。なお、事故等が発生した場合は、速やかに機構長に届け出なければならない。

(廃棄物の処理)

第12条 研究開発室から発生する廃棄物は、燃えるゴミ、燃えないゴミ、ペットボトル、カン、ビン、古紙（コピー、チラシ、段ボール等）、発泡スチロールに分類して、理工学部ゴミ捨て場に破棄するものとする。

(迷惑行為)

第13条 利用者は、他の使用者の迷惑になる行為を行ってはならない。

(フロア)

第14条 銀河ラボ内は、土足可能であるが、館内美化のため、上履きの使用を奨励する。

(事業評価)

第15条 使用責任者は、別添様式3により、毎年、銀河オープンラボ運営委員会による事業評価を受けるものとする。

(原状回復及び損害賠償)

第16条 使用責任者は、許可された使用期間が満了したとき、又は使用を中止するとき、使用した研究開発室を原状回復し、明け渡さなければならない。

2 使用責任者は、故意若しくは過失又は使用許可条件に違反したことにより研究開発室及び備品（搬入機器等は除く。）等を損傷し、又は滅失したときは、これを原状回復し、又は当該損害の額に相当する金額を弁償しなければならない。

(雑則)

第17条 この要項に定めるもののほか、銀河ラボの使用に関する取扱いについて必要な事項は、別に定める。

附 則

この要項は、平成30年7月10日から施行し、平成30年4月1日から適用する。

(別添様式1)

利用者一覧

氏名	所属・職名等	連絡先	利用形態	備考

(別添様式2)

搬入機器一覧

機器等名	所有者(所属)	設置工事	備考

(別添様式3)

プロジェクト事業評価申請書

年 月 日

1 申請者の概要

フリガナ				
代表者氏名				
プロジェクト名				
共同研究者 (所属・氏名)				
使用研究開発室名				
今年度採択 外部資金 (欄が足りない場合には 増やしてください)	外部資金名称 及び委託者	テーマ名	研究期間	金額(千円)
今後採択を計画し ている外部資金				

2 今年度のプロジェクト実施成果等

<p>(1) 実施プロジェクト内容</p>
<p>(今年度実施したプロジェクトの内容を記載してください。)</p>
<p>(2) 研究成果の試作・実用化</p>
<p>(関連する研究成果が試作に結びついた又は実用化されたものを記載してください。)</p>

(3) 今後のプロジェクト実施計画
(今後実施を予定しているプロジェクトの計画を記載してください。)
(4) 研究成果の実用化・製品化のため計画
(今後予定している試作数、製品化数、参画企業数などの計画を記載してください。)
(5) オープンイノベーションの取り組み内容
(多様な関係者が一同に集まることにより積極的にイノベーションを起こすために今年度実施した取り組みとその成果を記載してください。)
(6) その他 (今年度プロジェクト実施にあたり発生した問題点とその改善対策、 どのような支援を期待しているか、など)